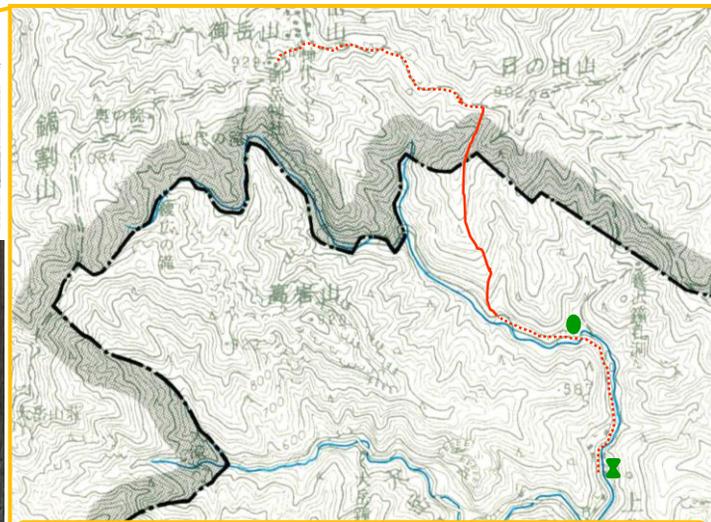
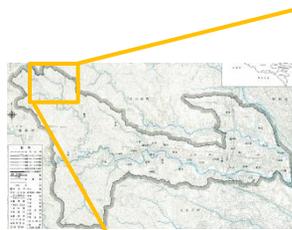


## 地域との協働で復活した昔道を紹介します



— 大野道    ..... 車道、尾根道    ● トイレ    ☒ バス停



大野道入口 石碑と設置した道標



地域が設置した橋に安全対策

長い長い道のりを  
トングワ、ツルハシ、  
カケヤ、チェンソー  
担いで通いました。  
養沢の知恵と経験と  
心意気で・・・  
大野道が復活！



いっぷくすんべえ～



尾根道には隊長ベンチ！



荒れた道が生きかえる

上養沢バス停から柿平のトイレまで車道を歩いて約20分。林道を進みしばらくすると右手に大野道入口が見えてきます。この周辺は「大野」という地名で約200年前には人が暮らしていたと伺いました。大野道は、御岳講といって1年の無事や豊作を願い御岳神社のおいぬ様を祀るための表参道として全国から多くの方が訪れていたようです。登り始めると細かいつづらの道が続き、別名「48曲がり」と呼ぶ地域の方の話に納得です。針葉樹が続く森にミズナラやヤマザクラなどの広葉樹がチラホラ顔を出し始めます。季節によっては野鳥がさえずり、テンなど野生動物の痕跡を

目にしながら趣のある道を歩きます。大きな岩がゴツゴツと現れた場所からようやく御岳を拝むことができますがもう少し！尾根道に出たら倒木を利用して作った隊長ベンチで一休み。鳥居をくぐると御岳神社へ続きます。明治24年に建てられた大野道入口の石碑には「20丁余」と刻まれており、今も変わらず約2.2キロの道のりです。

御岳講だけではなく、昭和初期まで養沢の男たちは提灯を持って御岳にお酒を飲みに行ったそうです。地域の生活とも密接な関わりがあった、地域の力で復活した大野道を歩いてみてはいかがでしょうか。

## 地域の力を次世代へ！

整備で復活したのは正に地域の力！地域によって維持されているからこそ私たちは利用できます。みんなで大切にしていくために、管理していくために私たちレンジャーは、“地域の力”を子どもたちに引きついでいきます！



軍道の石原沢



落合の加茂原



高尾の城山登山道

※レンジャーが利用する場所は、地域の了解を得た上で大切に利用しています。

## 負けない自然の話し

今年は、記録的な大雪だけではなく、6月中には局地的豪雨など決して穏やかではない梅雨の季節が訪れました。非常に激しい雨の影響で大変な目にあったのは人間だけではなく、たくさんの野生動物も同じであると思います。例えば、昆虫から哺乳類に至るまで、この季節に繁殖や子育てを行う多くの動物のことを考えると、野生動物のたくましさや生命力が思い浮かびます。雨が苦手な私は、この野生動物の力強さに支えられて、梅雨の季節も野外活動を行うことができます。

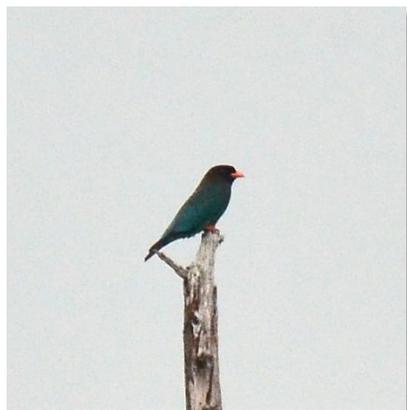
右写真→5日連続の厳しい雨を耐えたオオタカの雛3羽は弱ることなく元気な様子でした。



## 今月のスターたち ☆☆☆

梅雨は出会える動物が意外と多く、雨が降る日にも奇跡的な出会いもあります。梅雨の晴れ間では更に出会える確率が高まるので、暑くなったからといって外に出るのを嫌がってはいられません。今月はこれらの4種類を紹介したいと思います。

- ① 左写真→あの貴重な野鳥「ブッポウソウ」を久しぶりにあきる野で確認。
- ② 左下写真→カミキリムシの季節になりました！種類が多く、写真のクビアカトラカミキリの様に小さく、良く探さないと見つからない種類が多くなります。
- ③ 下中央写真→梅雨から初夏まではムカシヤンマが最も出没する時期ですが、東京都では絶滅危惧種になっている数少ないトンボの種類です。
- ④ 右下写真→梅雨の代表的な生き物であるホトギス。カッコウの仲間で、実はウグイスと同様に姿を見るチャンスが少ないです。正しいポイントで静かにいれば、どれほど素敵な鳥類なのか実感できます。



## もっと協働事業！！ パプロが紹介する協働で復活した昔道(高尾地区)

今年の春には、高尾自治会と協働作業が行われました。昨年は高尾神社から城山まで道を広げ、城山で間伐などを行いました。今回は同区間で階段やベンチの設置などを含んだ道の整備が行われました。サポートレンジャー

も明るくお手伝いして頂き、とても楽しい整備の一日でした。少し遅くなりましたが、皆さんお疲れ様でした！そして、地域の方々には是非この道で散策し



てみてください。楽しいアップダウンや見晴らしの良い所もあります。

[パプロ]